

## 令和2年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和2年8月25日（火）  
地 区 音羽町・木場町地区  
会 場 住吉コミュニティセンター

### 〈意見交換〉

○司会 それでは、続いて、意見交換の時間に移りたいと思います。

この時間は、町内会からの要望事項やテーマプレゼンテーションの内容のほか、地域の課題等に対する意見交換を中心に進めてまいります。お時間に限りがございますので、お一人につき1件ずつ、3分程度を目安に簡潔にご発言いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、町内全体に関わらないような個人的な要望や苦情等につきましては、まちかどミーティング終了後、個別にお話を伺わせていただくことといたしますので、あらかじめご了承ください。

また、今年のまちかどミーティングにつきましては、全体の参加人数を制限しておりまして、後ろ側をご覧のとおり、市側の出席者につきましても例年よりかなり少なくなっております。そのため、ご意見の内容によっては、本日この場での回答が難しいものもあると思われまじけれども、その場合には、担当部署に引き継ぎまして、後日、改めての対応となりますことをご了承いたします。

なお、発言する際には、最初に町内会名とお名前を述べてからご発言をお願いします。事前要望に関する意見の場合には、意見の場合には、併せて何番目の要望に関するものかについてもお知らせいただきたく思います。

最後に、繰り返しのお願いとなりますけれども、ご発言は3分程度を目安にさせていただきたいと思えます。

それでは、ご意見のある方は、マイクをお持ちしますので挙手のほうをお願いいたします。

◆市民 高丘泉町内会の■■■■です。事前に要望を出しておけばよかったんですけども、ちょっと総務部長と連絡の手違いで事前に出すことができませんでした。

2点あるんですけども、1つは、私たちの町内会は支笏湖道路を挟んで道路の両側に家があるんですね。そういう地区です。それで、支笏湖道路、この数年前にもここでお願いして少しは改善されたんですけども、支笏湖道路を通る、トラックとかが通ると揺れがすごいですね。私の家は道路から1本挟んで中に入っているんで揺れないんですけども、道路沿いの人たちは揺れと騒音がひどいんだと。何か、マンホールか何かがあるところにあって、そして、そこを通るときはすごいんだということなので、実際に、その人たちの意見を聞いてもらいたいな、どんなにひどいのかということを知ってほしいな、そういう機会を持っていればありがたいというふうに思えます。

それと、1点だけというけど、もう一つ言っていかな。

○司会 はい、どうぞ。

◆市民 展望台公園があります。私も散歩によく行くんですけども、そのトイレの問題です。

子供らが遊ぶところがあるんですよね、小さい子供らが遊ぶところ。その近くにトイレがないんですよ。展望台の近くには管理棟と一緒にあるんですけども、小さい子供らが遊ぶところの近くにトイレがないんですね。やっぱり子供は遊びに夢中になると、トイレするのを忘れて、急にしたくなるんです。そういうことで2点にお願いしたいと思います。

以上です。

○司会 それでは、今の2点につきまして、市のほうから回答をお願いいたします。

◎緑地公園課長 失礼いたします。都市建設部緑地公園課の成田と申します。よろしく申し上げます。

まず、1点目の支笏湖通りの車の交通の影響で震動ですとか、騒音が近隣にお住まいの方に非常にご迷惑をおかけしてる、かなり気になる状態であるということで、今伺いましたしまして、道路管理者、国道、道道、市道と、それぞれの道路で、道路とひとえに言っても管理者が実は違っています、国道であれば、北海道開発局のほうが管理者になりますが、今そういったお話いただきましたので、我々としても非常に騒音、震動で苦勞されているということですので、国のほうにも、その旨ちょっと伝えまして、あと、地域の方々のそういった苦勞されている意見だとかも聞く機会だとかも設けられるよう少し調整のほうをさせていただきたいと思っております。あと過去にも同様の震動に関するご意見も地域からいただいていた、たしかマンホール回りだとか、国も含めて、そういった緩和に向けて、舗装だとかも協力していただいた経過も過去にはあったかと思しますので、引き続き同じ道路管理者同士でも話し合いながら、緩和に向けて何ができるかということ話し合っていきたいというふうにございますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

あと、2点目でございますけども、展望台公園って、緑ヶ丘公園の展望台のことだと思うんですけども、そちらにつきましては、今ご指摘いただきましたとおり、展望台にはトイレがあるんですが、子供たちが遊ぶ遊具のあるほうにはトイレがないということで、小さなお子様、遊びに夢中になって、すぐトイレに行きたいときに、今は展望台まで行くのも小さいお子さんにとっては非常に遠い距離だと思っております、そういったお声、実は緑地公園課の私のほうにもそういったご意見、お子様をお持ちのお母さんたちからもそういったご意見既にいただいていることございますので、今後に向けましては、例えばあちらのほう、簡易トイレを置くですとか、その辺ちょっと今後よく、何ができるかということをちょっと話し合いながら、市としても、その辺詰めてまいりたいと思しますので、そちらにつきましても、できることをできる限り迅速に行いたいというふうにございますので、引き続き、よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 ちょっと関連でいいですか。

○司会 はい。

◆市民 道路の揺れのことですけども、私、当事者でないもんだから、なかなか市の人にもきちっと伝わらないと思います。それで、町内会でそういう被害に遭っている人たちを集めますので、ぜひ

実際に困っている人たちの声をじかに聞いてもらいたいというふうに思います。

以上です。

◎緑地公園課長 では、今のご意見、しかと受け止めまして、国のほうとも、いち早く調整のほうを進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしかったでしょうか。

ほかにいらっしゃいますか。

どうぞ、後ろの方。

◆市民 スプリングス高丘の■■■■です。ちょっとお願い事なんですけれども、今アッペナイ道路と言われている道路が、信号機がないせいか、車が非常に多くなっています。それで、10月か、まあ、今年中に高速道路が開通に伴って、ますます交通量が多くなるのではないのでしょうかということ懸念しています。うちの町内の子供たちがあそこをどうしても学校行くのに渡るんですよ。スプリングス高丘の前の道路をね。そこを渡るしかないんですけど、横断歩道はずっと工業高校のほうにあります。

それで、対策として、信号機は以前から何とかお願いということでやってましたけども、最後に市のほうからとどめさせられて諦めておりますけども、また再度要求していきたいと思っております。

それで、通勤帯に、その道路ですね、今の松風町は、その時間帯、学校に行く時間帯に交通量を通さないようにしているとか、そういう対策をやっています。それで、うちも、あそこの小学校までの間は時間帯で通さないような方法を取れないのかと思っています。

それと、もしそれも駄目であれば、横断歩道をつけてほしいということをもっとお願いしたいと思います。

以上です。

◎市民生活課長 どうもこんばんは。交通安全を担当しております市民生活部市民生活課の野水でございます。今お話しいただきました、アッペナイ道線の信号機並びに横断歩道の設置要望というものは、以前からいただいておりまして、毎度同じようなご回答しかできていない状況で、なかなか今信号機、横断歩道、交通規制関係というものが全て北海道公安委員会さんの管轄という形で、市としては独自で対応することができないと、働きかけて要望することしか今できない状況でございます。なかなか実現ができていない状況でございます。お時間かかっておりますけれども、引き続き要望の項目としては、市として上げさせていただいておりまして、粘り強く道のほうには伝えておりますので、ちょっとお時間いただきたいと思います。

あと、時間規制という部分なんですけれども、結局、その児童生徒が通る時間帯に時間規制をかけるという形になりますと、通勤に使われる車両ですとか、そういうものが全てそこを通れなくなってしまうというような部分で、動線の確保という部分でもちょっと調整等も必要になりますし、また、地域の皆様の同意をいただいた上で公安委員会、警察等と時間規制という部分については協議をしていく必要もございますので、ここについては、一度町内会さんのほうのご意見伺わせていただいて、それが本当に、確かに安全対策としては、車両排除という部分では効果が

あるかと思うんですけれども、それによって、今度その車両がまた別なところを通っていくという部分、相対的なところを勘案した中で検討する必要がございますので、一度お話しさせていただきたいと思いますので、よろしくお話ししたいと思います。

◆市民 いつでも結構です。横断歩道の件は。同じか。

◎市民生活課長 横断歩道も信号機と一緒に公安委員会、一つ申し上げますと、今公安委員会から、私ども、警察と協議を数多くやる中で、横断歩道だけの設置、それについては、安全確保が担保できないと。今やはりこれ、私ども啓発もしっかりやりますけれども、以前は横断歩道に歩行者がいて、渡ろうとすると、皆さん止まって、歩行者がまず渡られるという状況だったんですけれども、残念ながら、今なかなか横断歩道のところでも乗用車が停止をしないというような状況も多くなってきておまして、要望としては、横断歩道だけではなく信号機とセットで要望を上げていくという形で、今継続しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

◆市民 はい。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい、よろしい。

○司会 ほかにいらっしゃいますか。

どうぞ。

◆市民 住吉泉町内会の■■■■でございます。よろしくお話しします。

要望事項で提案していた2件なんですけれども、ご回答いただいてありがとうございます。会館のほうなんですけれども、会館整備のほうは、私どももLEDの改修などで使わせていただいたんですけれども、非常に丁寧な対応で書類も教えていただいて、工事のほうも無事終わっております。本当にありがとうございます。

それで、やはりトイレが、今高齢化ですので、昔のサイズと違うので、これから改修していく予定なんですけれども、なるべくそちらのほうにお金を注ぎたいなということで、会館のテーブル等も、今高齢化で老人クラブのほうも高齢化が進んで、皆さん一生懸命やっているんですけど、その一生懸命のあまりにつまずいたりしてけがされては困るので、キャスターつきをということで、ここに載せさせていただいたんですけれども、それでは、ちょっと無理でしょうということなので、ほかのほうの補助のほうをご提案いただきまして、ありがとうございます。

それで、この一般コミュニティ助成金というのは、うちも1回頂いていて、お祭りに使っていますアルミ製のやぐらを一度当たっていますので、そのありがたみというのは、十分承知しておりますので、こちらも申請させていただきたいと思います。

それと、もう一点の民生委員のサポーター制度のお願いということで出させていただいたんですけれども、やはり民生さんも高齢化、高齢者が高齢を見ているという形になっておまして、この地区も公営住宅が多いので、皆さん、元気でやってはいただいているんですけど、やはり階段の上がり下がりがかなりの負担で、やりたい気持ちはあるけど、体がという方もいますので、ぜひこのサポーター制度、早急には言いませんので、今ご検討していただくという回答いただいておりますので、ぜひともよろしくお話ししたいと思います。

それで、途中でやめられる方も結構いるので、今はコロナの時期ですので、家庭訪問がなかなか難しい時期になっています。それで、なかなか早急にということはいきませんが、対象の方にもちょっとご迷惑をおかけしますが、順次探していきたいと思います。

それと、今後ともご協力をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○司会 それでは、今たまたまコミュニティー助成金と民生委員の2点についてお話ございましたけれども、市のほうから回答で、事前の回答に併せて追加するようなことがあれば、お話しいただければと思います。

◎市民生活課長 町内会のほうを担当しております市民生活課でございます。

今■■■■のほうからお話しいただいて、本当に町内会さんの実情という部分、私どもも承知はさせていただいているんですけども、なかなか満度な部分できていないということで、今コミュニティー助成制度という部分をご紹介させていただいたんですけども、これにつきましては、まあ、抽せんで、割当てがあるものですから、必ず活用できるという部分ではないんですけども、非常に町内会活動、利用価値のある幅広い範囲で活用できるものでございます。おかげさまで、道内で割当てなんですけれども、比較的、苫小牧市、毎年これ運よく当たっている状況がございますので、かなりの町内会さんが、■■■■おっしゃったような、お祭りのやぐらですとか、そういうようなものに活用いただいておりますので、先ほどお渡しした書類でご申請いただいて、対応を図っていききたいなど。

あとは、僅かですけれども、町内会さんのほうに、私ども活動助成金のほうを町内会の世帯数という形でお渡しをさせていただいております。そこにつきましては、利用の制限を設けない中で自由に活用していただける性質のものとして、僅かですけれども、出させていただいておりますので、そういうようなところもご活用いただいて、なかなか満足いかないかと思っておりますけれども、お願いをして、また何かあればご相談いただければ、活用できるようなものをご紹介させていただきたいと思っておりますので、お願いいたします。

◎福祉部次長 おぼんでございます。民生委員の推薦を担当させていただいております福祉部の大橋と申します。本日は、■■■■からご提案いただきました、民生委員のサポーター制度でございます。

こちらにつきましては、やはり全国的に民生委員の定数がなかなか満度にならないということで、欠員という問題を抱えている自治体が非常に多くございます。その中で、先進地としまして、こちら、例として挙げさせていただきます、千葉市の事例ですね。こちらのほうも、私どものほうから少しちょっとお話を伺わせていただいております。

このサポーター制度、様々課題もあるというふうにも伺っておりますけれども、やはり、例えばそのご家族ですとか、それから元民生委員さんがサポーターになられているということも今後の検討課題だというふうにお伺いしているところでもございます。そうしたご提案いただきましたサポーター制度も含めまして、今後の民生委員推薦に当たって、どのような手法が取れるのかというところを苫小牧の民生委員・児童委員協議会、それから、各町内会様とご一緒にいろいろと相談させていただきながら、今後の推薦方法含めて検討を重ねてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 よろしかったでしょうか。

ほかにいらっしゃいますか。

はい、どうぞ。

◆市民 双葉町の■■■■です。昨年、支笏湖通りのサイクリングロードを要望したところ、すぐ対応していただきまして、まずは感謝を申し上げます。

今日はゼロごみ大作戦ということでちょうどよかったなと思うんですけど、私、双葉町の環境美化部に所属しまして、今年から初めて、おまえやれということ言われて、今までごみについては全く無関心だったので、今日ビデオを見て、大いに反省をしております。

それで、今日の要望ですけども、これは私が考えたんじゃないんで、前任者が、今日行ったらちゃんと言ってこいと強制されまして、結論言いますと、戸別回収ということをやってほしいということですね。前任者も何回か言った、過去に言ったそうなんだけど、苫小牧市として、前向きに考えているのか、いつ頃そういったことを実現できるのかということ聞いてこいと言われたので、私は全然詳しくはないんですけども、これから、いろいろ勉強するんですけども、その辺のところを回答いただければと思います。

今ごみ減量ということで、戸別回収をすると、多少は減るかなという予想も立ちますけども、その辺よろしくお願いします。

私、今勉強中で「クリーンとまこまい」という冊子を見て、いろいろ勉強したので、ちょっと疑問に思ったことを言いますので。

この中にごみ回収という言葉と、例えば剪定枝収集という、この回収と収集という2つの言葉が出てくるんだよね。だから、それで、何が何なのかなと、読んでも分からないので、辞典引きましたら、廃品回収と書いてあって、収集のほうは、切手収集なのね。収集というと、何となくコレクターが何か宝物を集めるというか、そういう感じなのが、例えば骨董品収集とか、あるいは、今日のような資料のデータを収集するとか、そういうような場合に収集というのは使われるように辞典を引くと書いてあるので、やっぱり、ごみの場合は回収かなというふうに思うんですけど、まあ、それは説明いただければいいかなという。はい、以上です。

○司会 それでは、市のほうから回答をお願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長 どうも皆さん、こんばんは。環境衛生部のゼロごみ推進課長をしております倉持といいます。日頃よりごみの減量と分別リサイクルの推進、まちの環境美化にご協力いただきまして、この場をお借りして、お礼を申し上げます。

ご質問いただいた、まず戸別収集の件でございます。戸別収集については、従来のステーション収集とは異なりまして、1軒ごとにポリバケツといった容器にごみを排出していただいて、それを集めていく方式でございます。本市では、平成28年度から市内14地区で、モデル事業という形で、試し、試行ですね、をしてございます。その結果、平成の30年度に効果検証しまして、戸別収集によって、高齢者だとか、障害者、子育て世代のごみ出しの負担が軽減される。それ以外にもごみの排出マナーが改善される。不適正排出が抑制される。結果、ごみの量も減っているというような形の効果が期待できるというような検証を得ております。

ただ、一方、収集に要する時間だとか、作業の負担というのが増加しているということもあって、収集作業をしてくれている8割の方が反対というような形で、現状の戸別収集における問題点というのも指摘されているというのが現状でございます。

原課としましては、今後の高齢化社会を考慮しますと、必要な市民サービスの一つではないかというふうには考えております。ただ、今の人口減少に伴う税収減だとか、労働者不足、そういったものを考えますと、現時点では、すぐに拡大するというようなことが非常に難しい厳しい状況にある、ここをまずご理解いただきたいというふうに思っています。このため、当面は現状のごみ収集体制を維持し、モデル地区のごみ容器の設置場所だとか、全市的なステーションの不適切排出、問題点等を改善する方向で、今収集業者とも話をしながら改善を進めているというようなどころでございます。

今後、いろんな町内会さんとも連携して現地の対策を講じていきたいというような形、今の時点では、ちょっとここまでしかお話できないというところをご容赦いただきたいと思います。

それから、ごみの回収とそれから剪定枝の収集のお話あったと思います。すみません、私どもが出した資料ではあるんですけども、基本的にはおっしゃるようにごみについては、自治体が回収して処理をしなければいけないというような大原則がございますので、恐らく、今のお話の中では、回収のほうが正しいのではないかなというような形になるんですけども、ちょっと、ここをもうちょっと、後日調べさせていただいて、正式にご回答さしあげたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。

以上です。

○司会 よろしかったでしょうか。

ほかにいらっしゃいますか。

まだ、お時間のほうもありますので、テーマプレゼンテーションの感想でも構いませんので、まだ、ご発言されてない方いらっしゃいませんか。

はい、どうぞ。

◆市民 高丘泉町内会の■■■■です。戸別回収のことに関連して、今、1つのごみステーションに何世帯が平均して利用しているのか。アパートとか、そういうところは関係なく、一般家庭でごみステーション1つについて、何世帯が利用しているのかなというデータがありましたら教えていただきたいなと思います。

○司会 ステーションの世帯数について、回答をお願いします。

◎ゼロごみ推進課長 今アパートだとか、集合住宅は抜きの話だと思うんですけども、恐らくごみステーション、皆さん、もう何種類かあるのを見たことがあるんじゃないかなというふうに思います。木で作ってある大きめのごみステーション、大体1辺が180センチと90センチぐらい、これは大体六、七世帯から、多いところでは10世帯ぐらい入るようなところもあります。それとは別に折り畳みのできる銀色のステーションがあるんですけども、あれは大体4世帯ぐらいが限度というような形になっています。中には、2世帯でそういうのを使っていたりだとかというようなところもありますので、そこは捨てやすさ、道路の形状、そういったものを考え

ながら我々のほうで配置させているというような形になっております。

以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

どうぞ。

◆市民 住民にとったら、ごみ回収というのはすごく大事なことなんですよ。周りが汚くならないようにすること。それで一気に戸別回収に行くのではなくて、折り畳みのやつ、そういうのを設置していけば、ごみ収集の人にとったら、また大変なことになるわけですけども、少しずつ、一気に戸別回収ではなくて、少しずついくという方法もあるんじゃないかなというふうに思いました。

以上です。

○司会 回答をお願いします。

◎ゼロごみ推進課長 おっしゃるように、少しずつというところはあるかもしれないです。ただ、やっぱりステーション数、集める箇所が増えていくと、当然、それに対応する人員も必要となってきますので、ちょっとそこら辺も含めて、今、収集業者とも話をしている最中です。

以上でございます。

○司会 今、収集業者のほうといろいろと話を進めているということなんですけれども、よろしかったでしょうか。

ほかにもございますか。

どうぞ。

◆市民 こんばんは、先ほどのプレゼンテーションですけども、非常に若い方頑張ってやっていただいたんで、大変よかったなと思っています。また来年も頑張って新しい発想でやっていただきたいと思っています。

ちょっと今日の質問は、私、今日聞かれたことがありまして、このまちかどミーティングに出ると言いましたら、双葉町の福祉ふれあいセンター、今立派にできております。また、そこに兎相もできてやっているわけでございますけども、大変そういう面で充実をしているなということで、我々も大変心強く思っているところでございます。

そういう中で、津波の、避難所といたしますか、そういう関係で、たしか、あそこ造ってるときに、説明であそこは避難所になるとか、提供できるとか、そういう話を聞いたんだけど、どうなっているだろうと私聞かれました。ちょっと認識不足で分からなかったものですから、今日聞いてきますということで、お伺いをさせていただいております。

以上です。

○司会 福祉ふれあいセンターの避難所の件になります。回答のほうお願いいたします。

◎危機管理室長 市の防災を担当しております危機管理室の前田と申します。よろしくお願いいたします。

今福祉ふれあいセンターを含めて、津波の避難所というお話がございましたけども、まず、避難所につきましては、苫小牧市は学校を避難所にしてます。これは小・中・高・大学、全ての学校を避難所としております。津波につきましては、例えば津波が来る、浸水が想定されているエ



リアの中に学校があるケースもありますけども、そういう場合には、その学校の3階が津波の場合の避難場所という形になっております。

双葉町でいいますと、和光中学校がございますので、基本的には、避難所は和光中学校という形になります。今のところは、和光中学校までは津波の浸水予測はなっておりませんが、そこが避難所という形になります。

それで、福祉ふれあいセンターの防災における活用なんですけども、あそこにつきましては、いろんなそういう機能的に考えまして、市としましては、福祉の避難所、災害弱者ですとか、そういった方々のための避難所にしたいというふうに考えております。平成30年の9月6日の胆振東部地震があって、あのときにブラックアウトということで、電気がない中で非常に皆さん大変な思いをされたと思いますけども、そういった、電気がない中でどういう対応ができるかというような、電気の確保ですとか、そういうことも含めて、ちょっと庁内で調整をした上で、あの建物については、福祉、災害弱者のための避難所という形で整備していきたいというふうに思っております。

以上です。

○司会 よろしかったでしょうか。

ほかにいらっしゃいますか。

どうぞ。

◆市民 まだ時間があるようなので、仕方なしに質問したい。

環境美化を担当すると、いろいろと目の向くところがだんだん違ってきて、今度は、公園の話なんですけども、公園では、大体は子供が遊ぶという、だと思っんです。もちろん、老人も遊んでもいいんだけど。そこで、今まで、今はどうか知りませんが、昔、農薬とか、例えば花に虫がついたとか何とかで農薬を使ったりしたときがあったみたいで、やっぱり公園というのは、そういう農薬は使っちゃいけないという、これは私の個人的考えですけども、ぜひ、ほかの町内会でもやってるかもしれないけども、やっぱり公園は作物を作るわけじゃないから農薬は禁止というような、苫小牧市条例みたいなものをつくるといいかなと、これは個人的な意見ですが、しかし、全体の苫小牧市民の健康のためでもあるので、よろしくお願いします。

○司会 公園での農薬の使用についてのご質問でしたけれども、市のほうから回答お願いいたします。

◎緑地公園課長 都市建設部緑地公園課の成田と申します。よろしくお願いします。

ただいまお話ありました、公園で農薬を使わないようにということでのお話だったんですけども、今現在、公園のほうでは、薬、農薬等は今使っていない状態で、実はございまして、公園については、基本的には年3回の草刈りということで対応させていただいておる、例えば草を枯らすようなものとかというのは、市内では今現在使っておりません。なので、引き続き、そういった薬だとかということでの対応ではなくて、草刈りによってそういった雑草だとかの対応を引き続き管理させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○司会 よろしかったでしょうか。

ほかにいらっしゃいますか。

それでは、いらっしゃらないようですので、これで意見交換を終了させていただきたいと思えます。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 毎年ですが、この第1回目のまちかどミーティングというのは、我々も、どのような、予定どおり行くのか、どのような流れになるのか、非常に不安な中で今日、今年も取り組ませていただきましたが、皆さん方のおかげで、何とか今後細かな修正をしながら16地区、10月末までやっていくこととなりますので、この第1回目、いろんなご意見、ご指摘をいただきまして、本当に感謝を申し上げたいなというふうに思います。

中でも、ゼロごみ大作戦、ごみのお話が結構指摘をいただきました。■■■■さんからもいただきました。双葉町内会というのは、市内の町内会の中でも非常に早い段階から、例えばお祭りのときのごみ箱撤去とか、非常に早くから取り組まれている町内会でございます、そういう意味で、ぜひ、また市内のほかの町内会の模範となるような、■■■■もいらっしゃいますけれども、ぜひ、これからも期待したいなというふうに思います。

あるいは、収集と回収というのも初めてご意見を聞きました。なるほどなと思いつつながら、今マスコミでもステーション収集とか、戸別収集とかという言い方が一般的であります、これは金田一先生に聞いてみないと分からないなというふうに思いつつながら、言葉の定義の問題についても、担当で調べるといふふうに言っていますので、市が行っている取組、事業に対して、どのような言葉を選択すべきなのかということについては、僕も非常に興味があるんで、どうなのかというふうに思っていました。

いずれにいたしましても、インターチェンジ供用開始に伴って、また、いろんなご指摘等々がある町内会も含まれておりますので、我々としてもしっかりと住民の皆さんの安心・安全につながる、あるいはこれまでの日常というものが破壊されるようなことがないように、しっかりと見ていきたいなというふうに思います。

最後になりますが、コロナウイルス、いつ終息の見通しができるか分からない状況ではありますが、しっかりと感染拡大防止、地域経済対策、そして健やかな日常に向けて頑張っていく覚悟を皆さん方にお約束したいと思いますし、最後の最後、ぜひ多くの皆さんにごみが増えているよと、家庭ごみ、みんなで頑張ろうというお声がけをしていただきますように重ねてお願いを申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。今日はありがとうございました。(拍手)

○司会 以上をもちまして、本日のまちかどミーティングを閉会いたします。

ご帰宅後には、手洗い、うがいを徹底していただきますようよろしくお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。